

令和3年度

経営発達支援計画 事業評価報告書

令和4年2月21日

【評価基準】

- A：目標値が達成できており、効果が認められるもの、または期待できるもの
- B：目標値がおおむね達成できており、ある程度の効果が認められるもの、または期待できるもの
- C：目標値を大きく下回っており、取り組み方法の見直しが必要なもの
- D：計画が実行されておらず、評価ができないもの（計画そのものの見直しが必要なもの）

東白川地区商工会広域連携協議会



- ・埴町商工会
- ・棚倉町商工会
- ・矢祭町商工会
- ・鮫川村商工会



○事業評価報告書 もくじ

I. 地域の経済動向調査に関すること . . . P 1

II. 経営状況の分析に関すること . . . P 2

III. 事業計画策定支援に関すること . . . P 3

IV. 事業計画策定後の実施支援に関すること . . . P 5

V. 需要動向調査に関すること . . . P 6

VI. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること . . . P 8

地域経済の活性化に資する取り組み . . . P 10

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み . . . P 11

その他実施内容 . . . P 12

まとめ . . . P 13

事業評価検討委員会名簿 . . . P 13

実施内容と自己評価

(1) 経営発達支援事業の実施期間
令和3年4月1日～令和4年3月31日

(2) 経営発達支援計画の実施内容

I. 地域の経済動向調査に関すること

計画の概要

①各種統計調査資料の活用による経営実態の把握と事業所巡回時のヒアリングによる景況調査の実施

●実施内容

- ・福島県商工会連合会が実施する中小企業景況調査を郡内15事業者に対して4半期に1回、延べ60回実施した。
- ・業種は、建設業4件、製造業4件、小売業5件、サービス業2件。
- ・調査項目は①売上高の推移、②資金繰り・受注額・採算・従業員確保等の経営状況、③新規設備投資の状況、④経営上の問題点、⑤業況についてのコメントについて。
- ・全国及び国の景況調査資料を活用し経済動向を把握し、東白川の調査結果と比較した。

●自己評価

- ・計画どおりの目標件数を達成することができた。
- ・巡回による聞き取り調査を行い、より細かな経営課題を把握できるように努めた。また、事業者ごとの経営課題に対応する各種セミナーへの参加推進等に活用できた。
- ・調査結果は、全国及び県が公表している景況調査資料と一緒に埴町商工会ホームページの「経営発達支援事業」のページで公表（他町村商工会HPにはリンクを作成）するとともに、事業者が事業計画の策定をする際に活かすことができる基礎データとして活用。

（事業計画策定件数については、「Ⅲ. 事業計画策定支援に関すること」の項目参照）

《景況調査件数(延回数)》

	目標	実績
埴 町	5(20)	5(20)
棚倉町	5(20)	5(20)
矢祭町	3(12)	3(12)
鮫川村	2(8)	2(8)
合 計	15(60)	15(60)

評価委員による評価

I-①

	A	B	C	D
評価	4	4	1	0

(評価委員コメント欄)

- ・ 目標件数は達成できている。コロナ禍で経営実態どう変化しているのか資料を添付してほしい
- ・ 調査回数は目標達成できたが、目標数を増やし業種別に問題点を知ることが必要と思います。
- ・ 十分な調査結果です。
- ・ 目標達成の15業者は基準はあるのか？
- ・ HPに調査結果が出ていないようです。
- ・ お忙しい中での調査お疲れさまです。コロナ禍でもありますが、件数がもう少し上がるといいですね。どのような取組を事業所が行ったか、話できる範囲で教えてほしい。
- ・ 概ね目標値は達成しているものの、大きく上回っているものではないので、”B”評価
製造業→従業員の確保が課題

II. 経営状況の分析に関すること

計画の概要

- ①経営セミナー（個別相談会）による経営分析
- ②「ネット de 記帳」の経営分析システム活用による経営状況の把握

●実施内容

①個別調査・分析

・経営革新計画策定個別支援時の経営分析
7件（詳細はP3参照）

・その他の個別調査・分析

- i) 小規模事業者持続化補助金申請時の分析 20件
- ii) いきいき補助金申請時の分析 5件
- iii) 個別相談(専門家連携)による分析 8件
- iv) ものづくり補助金計画策定支援時の分析 3件
- v) その他(経営力向上計画、先端設備導入計画等) 9件

②商工会の会計システム「ネット de 記帳」を利用している事業者に対して、会計データを経営分析システムに取り込んで財務状況を把握するための資料を作成し、それに基づいてアドバイス等を行った。

●自己評価

①事業者への日々の巡回等の支援や専門家派遣による分析により支援先の経営状況を深く把握しながら取り組めた。また、セミナー開催後に個々の事業者の経営状況分析に取り組み、事業計画の策定等に活用することができた。引続き次年度においてもセミナー及び経営指導員による経営分析を進めていく。

②「ネット de 記帳」を活用している支援先と経営状況や財務分析の結果を共有しながら融資や販路拡大及び利益確保の相談支援ができた。今後も継続的な支援を行っていく。

《①個別調査・分析件数》

	目標	実績
埴町	10	8
棚倉町	10	29
矢祭町	5	11
鮫川村	5	4
合計	30	52

《②ネット de 記帳経営分析数》

	目標	実績
埴町	8	27
棚倉町	10	26
矢祭町	6	9
鮫川村	6	5
合計	30	67

II-①

評価	A	B	C	D
	3	6	0	0

(評価委員コメント欄)

- ・各分析の詳細がわからない。分析データを事業計画に活用できたとのことであるが、参考程度で良いので参考例を資料で見せてほしい。
- ・町村の実績をもちより郡の現状を把握すべき
- ・小項目ごとの分類が必要ではないか。実績が目標を大きく上回っているため、目標の見直しが必要。
- ・目標を大きく上回っている。補助金申請時等の機会を上手く利用している。
- ・セミナーは大変良いと思う。セミナーに多くの人に来てもらう魅力ある内容を企画
- ・引き続き取り組んでください
- ・事業者の要望に添った対応ができていると感じる。
- ・全体として概ね目標値を上回っているが、棚倉と矢祭のみが上回っている状況を踏まえ”B”評価とする。

II-②

評価	A	B	C	D
	7	2	0	0

(評価委員コメント欄)

- ・2倍の目標を達成している。
- ・良い
- ・経営状況を確認するため必要だと思う。
- ・事業者に寄り添った取組を願います。
- ・全体として大きく目標値を上回っているが、下回っているのが1団体あったため”B”評価とする。

Ⅲ. 事業計画策定支援に関すること

計画の概要

- ①経営分析を行った事業者に対する事業計画の策定支援
- ②セミナーと個別相談会の実施をきっかけとした事業計画の策定支援
- ③経営革新計画の認定に向けた支援

●実施内容

- ①巡回訪問や窓口相談のヒアリングの際に、経営課題解決のための計画策定を提案し、意欲的な事業者の掘り起こしを行った。
- ②経営セミナー「今すぐできる！売上回復・利益アップ塾」(全2回 10/18, 10/25)
 - ・新時代の経営戦略(コロナ禍の求められる経営スタイル)や売上利益アップ術(最新技術やツール活用と情報発信ノウハウ)をテーマにセミナーを開催。セミナー後に、講師による個別相談会を関連付けて実施した。
- ③経営革新計画の策定を4件支援し、3件の申請。※経営革新申請→偶数月の20日㍻
 - 3件 (R4.2月提出済)5月頃承認予定
 - 1件 (R4.4月以降の申請予定)

●自己評価

- ①巡回訪問や窓口相談をきっかけに下記の策定支援を実施した。

- ・持続化補助金申請時の計画書作成 (20件)
- ・いきいき補助金申請時の計画書作成 (5件)
- ・事業承継、創業計画作成支援 (3件)
- ・先端設備導入計画作成支援 (4件)
- ・もの補助申請時の計画書作成支援 (3件)
- ・経営改善に向けた計画書作成支援 (5件)
- ・経営力向上計画作成支援 (2件)

《① 事業計画策定支援》

	目標	実績
埴町	10	7
棚倉町	10	25
矢祭町	5	7
鮫川村	5	3
合計	30	42

補助金申請時の計画策定を中心に、事業承継計画、先端設備導入計画の際に計画策定支援を行った。次年度以降も各事業所の事業計画策定支援をしていく。

Ⅲ-①

評価	A	B	C	D
	2	7	0	0

(評価委員コメント欄)

- ・ 町村の違いは何なのかを知るべき
- ・ コロナ禍の影響
- ・ 意欲的な事業者の掘り起こしを引き続きお願いします。
- ・ 事業者の意識醸成につながっていると思う。継続的な掘り起こしと支援を願います。
- ・ 目標値を大きく上回っているが、実態としては棚倉、矢祭町が大きく上回っているのみで、評価は”B”とする。

Ⅲ-②

評価	A	B	C	D
	5	4	0	0

(評価委員コメント欄)

- ・ 参加者アンケートを行っている場合は参加者の声を記入してもよいのでは
- ・ コロナ禍の中で通年とは違う相談会ができたと思います。
- ・ SNS等年配者の方々には馴染みにくい所だが進めていってほしい。
- ・ セミナー良好
- ・ セミナー参加者が増えるよう工夫が必要ではないか
- ・ 継続的な支援を願います。
- ・ 目標値を達成している。効果も期待できる事業と評価
セミナー課題も現在求められているものをあると判断

実施内容と自己評価

②参加者数・個別相談数ともに、目標数を達成でき、個別相談については、セミナー後に声掛けを行い、相談者の増加に結びつけ、支援数が増えたことは良かった。セミナー参加者からは「情報発信の大切さが理解できた」や「SNS活用による売上アップの取組」等の前向きな声があり、個別相談では経営革新計画の策定支援に繋げることができた。
次年度も引き続き支援をしていく。

《②経営セミナー》

	目標	実績
セミナー(回)	1	1(2)
参加者数(人)	15	16(27)
個別相談(人)	5	9(22)

※()は延べ参加人数

《③経営革新計画策定支援》

	目標	実績
埴町	1	0
棚倉町	1	1
矢祭町	1	2
鮫川村	1	1
合計	4	4

③経営革新計画の策定支援については、売上回復・利益アップ塾の後に個別相談を希望した9事業所の経営戦略計画策定の支援を行った。そのうちの4事業所について経営革新計画の策定支援となった。
(2月申請→5月頃には認定見込み)

評価委員による評価

Ⅲ-③

評価	A	B	C	D
	3	5	1	0

(評価委員コメント欄)

- 埴町0(ゼロ)なので、是非各町村実績が上がると良いと思います。
個別相談の経過も入れると実績が目標と同じでも納得いく数字になると思います。
- 会員に経営革新計画を理解できる様、説明をしてほしい
- 申請までの支援はよく頑張ったと思います。
今後の継続的な支援を期待します。
- 目標少なくはないか？(セミナーに出席した人だけ)
- 引き続き支援をお願いします。
- このような状況だからこそ様々なヒントをもらいたい願望があると思います。引き続き響くセミナーの開催を願います。
- コロナ禍の中、経営革新は非常に難しい課題であったと思うが、実績があったことが概ね効果が期待できる事業と判断。目標値も達成。

IV. 事業計画策定後の実施支援に関すること

計画の概要

- ①経営指導員の定期的なヒアリングによる支援
- ②経営に関する各種セミナーの開催

●実施内容

①事業計画を策定した補助事業採択者に対して、その後の実行力の向上や補助事業の実績報告書作成支援のために、巡回訪問や窓口対応でフォローアップを行った。

②各種セミナー・相談会を下記のとおり開催した。

- ・金融相談会「一日公庫」年2回、各商工会で実施。
(日本政策金融公庫との連携)
- ・新型コロナウイルスの影響による金融相談(随時)
※コロナマル経(融資斡旋)11件
塙町7件、棚倉町3件、矢祭町1件、鮫川村0件
- ・HACCP講習会
R3.11.18(木)14:30~16:30 塙町商工会館
参加者:12事業所
▷HACCPに沿った衛生管理の制度化
▷HACCP計画作成と実施状況の記録・保存方法など

●自己評価

- ①経営計画策定を支援した事業者に対して、計画の進捗状況の確認や金融相談、専門家による継続指導や補助事業実績書類の作成及び事業計画の見直し等フォローアップを行った。今後も継続してフォローアップ支援を実施していく。
- ②経営に関する各セミナーについては、新型コロナウイルスの影響もあり税務・労務対策については各商工会で個別対応し、経営(HACCP講習会)の開催のみとなった。また、新型コロナウイルスの影響による売上減少(資金繰り悪化)等のコロナマル経の融資相談として11件の斡旋を行った。

《①ヒアリングによる支援数》

	目標	実績
塙町	10	2
棚倉町	10	18
矢祭町	5	2
鮫川村	5	3
合計	30	25

《②セミナー等の開催数》

	目標	実績
税務セミナー	1	0
労務対策セミナー	1	0
経営(HACCP)講習会	1	1
金融相談会	8	8
合計	11	9

IV-①

評価	A	B	C	D
	0	7	2	0

(評価委員コメント欄)

- ・悩み事を多く抱えている会員がいます。今後もヒアリングによる支援を進めてほしい。
- ・棚倉町の対応は素晴らしい。
- ・事業採択者に対して全員のフォローアップをお願いする。
- ・事業者の頼りは指導員さんであるため、まめに訪問・ヒアリングを行っていただきたい。
- ・定期的なヒアリングであれば、もっと実施する機会を確保していただければと思う。

IV-②

評価	A	B	C	D
	1	6	2	0

(評価委員コメント欄)

- ・コロナ禍のため理解できます。
- ・コロナマル経を多用しながら会員の減少を防いでほしい。
- ・専門家による指導・・・具体的に?
- ・コロナ関連の相談は今後も必要だと思う。
- ・これからも必要とされるセミナーの開催を願います。状況が刻々と変化するので、ニーズを捉えていただきたい。
- ・コロナ禍の中、中々セミナーや金融相談会の開催は困難であったとは思いますが。

V. 需要動向調査に関すること

計画の概要

- ①各種統計調査等資料の活用による調査
- ②物産展出店時や観光商業・宿泊施設での需要動向調査
- ③産業サポート白河との情報交換の実施

●実施内容

- ①業界動向、業種別の特性、市場規模、事業性評価等が把握できる「業種別審査辞典」の活用と併せて、リーサスやj STAT MAP等のWebシステムを活用しながら事業者支援を行った。
- ②新型コロナウイルスの影響により商談会の出展を実施しておらず未実施。
また、各物産展についても新型コロナウイルスの影響により一部を除き中止や出展を見合わせており、未実施。
- ③産業サポート白河の職員と情報交換をして、県南地域の企業の情報収集に努めた。

●自己評価

- ①「業種別審査辞典」の活用とWebシステム等も併用しながら情報を集めることで、経営計画を作る際の外部環境等の把握がスムーズになり、また計画の内容に整合性がとれ経営方針の見直しにつながる効果があった。今後も職員間で共有してより積極的な活用を心掛ける。
- ②商談会（物産展）参加時の需要動向調査については、新型コロナウイルスの影響により事業実施していないためBtoB及びBtoCの調査はできなかった。需要動向調査は、商品開発・販路拡大等の活用となるため、次年度は調査を実施できるようにしたい。
- ③情報交換の実施により、人手不足解消への対策として「しらかわ地域合同就職・企業説明会【棚倉開催】」への参加事業の情報共有や、各種セミナー・講習会等の開催の情報を事業所へ提供できた。次年度も、情報交換を図りネットワークを繋げていきたい。

V-①

	A	B	C	D
評価	2	5	0	1

(評価委員コメント欄)

- 今後も積極的に進めてほしい。
- 良
- ビッグデータを活用した分析は大変だと思うが大事なこと。
- 情報収集や資料の活用は大事ですよ。今後も事業者支援のための継続取組み願います。
- 分析結果の活用が具体的でない。達成度の判断が困難である。

V-②

	A	B	C	D
評価	0	1	4	3

(評価委員コメント欄)

- コロナによる影響は今後も続くと予想されるので、調査については違う手法を行うよう計画すべき。
- 今後に期待する。
- 未実施
- 手段を変えて何か実施する
- コロナのため仕方がないが、工夫は必要
- いたしかたないですね。
- 未実施であるため。

実施内容と自己評価

《需要動向調査関係》

		目標	実績
B to C 調査アンケート件数(件)		100	未実施
B to B 調査アンケート件数(件)			未実施
産業サポート白河との情報交換(回)		2	3
情報提供事業者件数(件) ※合計は経営計画策定支援先の 目標件数と同数	小売業	6	11
	飲食業	6	6
	宿泊業	6	0
	製造業	6	11
	建設業	3	6
	その他 サービス業	3	8
	合計	30	42

評価委員による評価

V-③

評価	A	B	C	D
	1	7	0	0

(評価委員コメント欄)

- 地元（県南地区）企業説明会は未実施
- 引き続き連携して行ってほしい。
- 人材確保のための情報交換をお願いします。
高卒者向けの説明会など、地域人材の確保につなげていただきたい。
- 目標値も達成している。今後も情報交換を期待したい。

実施内容と自己評価

VI. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

計画の概要

- ①小規模事業者の物産販売への参加等支援
- ②小規模事業者の商談会への参加等支援
- ③IT活用支援

●実施内容

- ①物産販売への参加等支援については、埴町で1件の物産販売参加及び物産セットの企画・PR・販売を実施。また、棚倉町では県連のECサイトの出展支援を実施した。
- ②新型コロナの影響により、商談会出展支援の代替えとして「新商品販路開拓のメディア戦略事業」を実施。事業者の新商品・新サービスをマスメディアを通じ、顧客に情報発信を行った。
- ・オープンセミナー（10/20）参加者13名
 - ・合同記者発表会（12/15）参加事業所7社
- ③IT導入に意欲的な事業者を選定し、ホームページやSNS、動画作成等の導入と活用スキル獲得のための個別サポート支援を実施した。

●自己評価

- ①物産販売への参加支援は、新型コロナの影響もあり多くの支援はできなかったが、WEBやDMを活用した販売支援ができた。
- ②取引先の増加や販路拡大を図るため、事業者の商品価値や情報が見える化し、プレスリリース発表会（合同記者発表会）を実施し、マスメディアを通じ顧客に届けることで、取引先の増加や販路開拓（拡大）に繋げる支援ができた。発表会の様子はYouTubeライブ配信し、現在もアーカイブ配信しており、742回の視聴がされている。また、NHKの番組で放映されたり新聞記事等で7社に掲載され、効果的な支援ができた。

《①物産販売支援件数》

		目標	実績
埴 町	実施回数	2	3
	出店者数	5	16
	顧客獲得数	15	86
棚倉町	実施回数	2	1
	出店者数	5	1
	顧客獲得数	15	10
矢祭町	実施回数	2	0
	出店者数	3	0
	顧客獲得数	9	0
鮫川村	実施回数	2	1
	出店者数	3	2
	顧客獲得数	9	9

評価委員による評価

VI-①

評価	A	B	C	D
評価	1	6	2	0

(評価委員コメント欄)

- ・ 直接販売は今後も難しいと考えます。ECサイトを上手に活用した販売への転換時期ではないでしょうか。
- ・ 多くの事業所が参加できるように
- ・ コロナ対策に配慮しながら実施してほしい。
- ・ いたしかたない実績数と思われる。村で把握している実績だと、左記の数字になると思われます。商工会・JA・村で三者の取り組みを行った分の実績です。
- ・ コロナ禍での実施は困難であったと思う。この中で実施は評価できる。

VI-②

評価	A	B	C	D
評価	3	6	0	0

(評価委員コメント欄)

- ・ 新商品のメディアへの情報発信は素晴らしいことだと思います。今後どう販売につなげていくかが課題です。
- ・ 新たな事業で今後も期待します。
- ・ 合同記者発表会は大変大きなインパクトがあった。
- ・ YouTube等大変良い実施0（ゼロ）の町村をなくすようにする。
- ・ マスメディアの活用は効果的だと思う。
- ・ このような状況下でも支援できたことは大きな成果だと思われる。
- ・ コロナ禍で参加者を確保することは大変だったと思う。目標値は上回っているが、効果は期待できる（合同発表会等）

実施内容と自己評価

③ IT活用による新たな需要開拓として、今年度も実践的な支援を行うため個別相談会を実施した。各事業所（全5回）の個別相談会を通して、Google マイビジネス（ビジネスプロフィール）の自社ページ整備やYouTube 動画配信、Instagram や Facebook を利用した商品宣伝に取り組み新規顧客獲得に繋がる支援を行った。

個別相談会に参加した事業所が、他の参加事業所の取組を意識しあい相乗効果が生まれ、継続的な支援ができた。

新たな需要開拓支援としては消費者ニーズに合わせた実践的な支援を業種を問わず取り組んでいくことが必要である。今後はDX への対応が求められており、事業所の業務効率化を含めた支援に取り組む。

②商談会出展		目標	実績
埴 町	実施回数	2	1
	出展者数	5	3
	顧客獲得数	15	103
棚倉町	実施回数	2	1
	出店者数	5	3
	顧客獲得数	15	9
矢祭町	実施回数	2	1
	出店者数	3	0
	顧客獲得数	9	0
鮫川村	実施回数	2	1
	出店者数	3	1
	顧客獲得数	9	2

合同記者発表事業所

埴 町：食品製造小売（2）、サービス業（1）

棚倉町：食品製造小売（2）、サービス業（1）

鮫川村：建設業（1）

③ IT活用支援数		B toC		B toB	
		目標	実績	目標	実績
埴 町	活用者数	4	2	4	2
	顧客獲得数	20	3	8	0
棚倉町	活用者数	4	8	4	8
	顧客獲得数	20	606	8	0
矢祭町	活用者数	2	1	2	1
	顧客獲得数	10	8	4	0
鮫川村	活用者数	2	2	2	2
	顧客獲得数	10	59	4	2

IT 個別相談参加事業所

埴 町：建設業（1）、サービス業（1）

棚倉町：食品製造小売（1）、小売業（4）、飲食業（2）
サービス業（1）

矢祭町：小売業（1）

鮫川村：食品製造小売（2）

評価委員による評価

VI-③

評価	A	B	C	D
	2	7	0	0

（評価委員コメント欄）

- 4 町村で加入している「モンベル」モンベルフレンドエリアでフレンドショップでの販売も可能
会員数105万人への情報発信も今後検討してはどうでしょうか
- 今後は IT 活用が必要となり、経験することが大事だと思います。
- 鮫川村で BtoB での成約2件は大きな成果ではないでしょうか。
- IT 活用に対する積極的な支援を求める。
- 事業者には取組みにくい IT 活用分野であるため、継続支援を願います。
- 現代に合わせた情報発信が求められている中で、効果が期待できる事業。評価目標値の捉え方は疑問であるが。

実施内容と自己評価

地域経済の活性化に資する取り組み

計画の概要

- ①地域経済活性化（観光物産振興）のためのプロジェクト委員会の実施
- ・観光プロモーションの展開
 - ・東白川ブランド商品の提案と開発、販売支援

●実施内容

①地域経済活性化、関係機関間の情報の共有と連携体制について、下記のとおり実施した。

町村名	内 容
埴町	▷飲食店応援 HP 制作「はなわ美味いもんストリート」（青年部） ▷ふるさと産業おこし連絡協議会 ▷埴町産業祭実行委員会 ▷埴町サイクルツーリズム推進協議会
棚倉町	▷棚フォト青年部事業 ▷たなぐら応援クーポン券発行事業 ▷交通活性化協議会への参画 ▷わくわく たなぐらスタンプラリー
矢祭町	▷やまつり元気祭り 2021 担当者会議 ▷商工会青年部事業「買い物スタンプラリーオンライン抽選会」 ▷矢祭山を歩こう【春（5月8日）、秋（11月13日）】 ▷矢祭町の風景フォトコンテスト
鮫川村	▷ふるさと振興協議会 年1回

※東白川サイクルツーリズム推進協議会は4町村共同で行っている。

※その他、各町村とも随時行政担当課との情報交換や意見交換を行っている。

●自己評価

- ①今年も新型コロナウイルスの影響により、各町村単位での活動については事業の中止（自粛）が多かった。コロナ禍の中で、活性化事業の取り組みとしてオンライン等を活用した事業実施やコロナにより事業の再検討を行い終了となる事業もあった。今後の事業企画について、情報交換、意見交換の場や機会を設けることが難しい状況ではあるが、当委員会の中でも次年度への建設的な協議の場としたい。

評価委員による評価

①地域経済活性化、関係機関間の情報の共有と連携体制

評価	A	B	C	D
	4	4	1	0

（評価委員コメント欄）

- ・ 4町村広域での協議会等の設立も今後必要ではないでしょうか。
- ・ 行政との協力が必要です。
- ・ 事業の自粛が多かった。
- ・ コロナ禍ではあるがよくやっている。コロナ禍に対応した行事が必要
- ・ コロナ感染症の終息を願う。
- ・ 鮫川村主眼でコメントします。青年部の活動に期待します。コロナでメインとなる花火大会やうまいもの祭など活躍の場がなくなっている。代替イベントや取組みを頑張ってもらいたい。若者の元気な姿を見せてほしい。
- ・ コロナ禍の中、できる事業は限定されていたが、できる範囲内でよく取り組んできた。情報交換等連携体制は確保できている。

実施内容と自己評価

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

計画の概要

- ①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等獲得のための情報交換に関すること
- ②経営指導員等の資質向上等に関すること

●実施内容

①支援ノウハウ等獲得のための情報交換

- ・日本政策金融公庫との経営改善貸付推薦団体連絡協議会（11月1日）WEB
- ・東北税理士会白河支部や白河税務署等との税務援助推進協議会（1月22日）
- ・地区内経営指導員と経営支援員による全体会。（年1回）
- ・税理士、社労士、中小企業診断士等の専門家との連携（随時）

②資質向上に繋がる取り組み

- ・経営支援マネージャー研修（中小企業大学校）の受講（3日間：1回）
- ・税務財務診断〔基礎研修Ⅰ〕（中小企業大学校）の受講（20日間）
- ・経営診断基礎商業コース〔基礎研修Ⅱ〕（中小企業大学校）の受講（20日間）
- ・福島県商工会連合会主催による経営支援能力強化研修会への参加（10月6日）
- ・全国連商工会連合会の経営戦略Web研修（年1回）
- ・中小機構「IT支援力向上講習会」WEB受講
- ・店舗向けホームページ作成サービス「グーペ」操作研修会（年1回）
- ・専門家との同伴巡回による経営分析ノウハウの獲得（案件ごとに随時）
- ・当協議会が行う経営支援会議（経営指導員）での案件共有による支援ノウハウ獲得（月1回）
- ・当協議会が行う業務管理会議（経営支援員）での案件共有による支援ノウハウ獲得（年3回）

●自己評価

①他の支援機関や専門家、職員同士の連携を活発に図り、概ね目標どおり支援事業の円滑な実施に繋げることができた。次年度以降も積極的な連携を図って、事業者支援の基盤強化に繋がるように取り組みたい。

②3年未満の経営指導員については、20日間の研修会を受講し経営指導員としての資質向上に取り組んだ。また、各商工会の経営指導員を中心にWEBによる講習会・研修会を受講し、支援ノウハウ情報収集やマネジメント力向上に取り組むことができた。

評価委員による評価

支援力向上①に関する評価

評価	A	B	C	D
	3	6	0	0

（評価委員コメント欄）

- ・他団体との協力は今まで以上に必要となる。
- ・適正な回数がよく分からない。
- ・具体的な効果は？
目標は適切なのか？
- ・引き続き取り組んでももらいたい
- ・横の連携が大切ですね。引き続き頑張ってください。
- ・できる範囲内で実施されている。

支援力向上②に関する評価

評価	A	B	C	D
	4	5	0	0

（評価委員コメント欄）

- ・職員の専門的な知識が必要となります。今後期待する。
- ・意識の向上が大切
- ・引き続き取り組んでももらいたい
- ・引き続き頑張ってください。
- ・できる範囲内で実施されている。

その他実施内容

●新型コロナウイルス感染症対策支援

新型コロナウイルス感染症に対する支援について、国・県・各町村の施策への申請支援を下記のとおり実施した。

【国・福島県】

実施（事業）名	支援事業所数				
	埴町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
一時支援金・月次支援金（国）	4	10	7	0	21
一時金・給付金・協力金（県）	25	81	11	15	132

【各町村】

町村名	実施（事業）名	事業所数
埴 町	埴町エール商品券事業	179
	埴町商工会プレミアム商品券事業	96
棚倉町	たなぐら応援クーポン券	149
	棚倉町事業者支援臨時給付金（※情報提供のみ）	—
矢祭町	矢祭町暮らし応援プレミアム付商品券事業	96
鮫川村	鮫川村事業所支援給付金	56
	鮫川村地域げんき商品券	108

新型コロナウイルス感染症に対する支援としては、様々な業種の事業所が影響を受けており、国・県・各町村の施策情報の提供及び給付金等の申請支援を優先的に実施した。現在も、福島県よりまん延防止対策の発令が出ており、飲食店の営業時間短縮協力金や売上減少による一時金申請支援中である。また、国より事業復活支援金申請支援も併行して支援を行っており、今後も情報提供及び支援の実施をしていく。

評価委員による評価

●新型コロナウイルス感染症対策支援

（評価委員コメント欄）

- 埴町商工会の皆様には大変お世話になりました。
- コロナ禍の状況で新たな取り組みお疲れさまでした。今後の支援もよろしくお願ひします。
- 会員の中でも申請支援の必要な事業所が多いと思われるので、大きな支援をお願ひしたい。
- 国・県・町村ともできるだけの支援はしていると思う。
- 今後も商工会さんと連携しながら行ってきたい。
- 今後も事業所支援のため頑張ってください。国・県の一時金や支援金を事業所に届くまでは大変な苦勞があるでしょうが、よろしくお願ひします。
- コロナ禍の各種事業の周知や情報提供で商工会の担う役割は非常に重要である。国・県事業についても同様。

ま と め

- 事業実施5年目（最終年）となり、当初の計画目標事項を反映しながら、事業実施の企画をしたが、今年度も新型コロナウイルスの影響により数値的な目標も達成できない項目もあった。新型コロナウイルスの終息はまだ見えておらず、事業所の課題解決へ全力で支援を行っていく。
- コロナ禍の状況で首都圏への商談会・物産展の出展支援が難しい中、代替え事業として合同記者発表会を実施した。事業者の商品価値や情報を見える化し、取引先の増加や販路拡大に結び付けていけるよう支援が行えた。次年度以降は、コロナの状況を踏まえ、商談会への参加等の販路開拓に繋がる支援を実施したい。
- 事業計画策定支援に関しては、昨年同様の人気講師を招致して、実践的で内容の濃いセミナーを実施し、セミナー後の個別相談会を開催したことで、スムーズに自社経営戦略の計画策定支援が行えた。事業計画策定支援の結果として、経営革新計画申請の支援に4件の実績となった。今後も経営環境が変化していく中で、売上向上に繋がる事業計画策定支援を実施し、事業者の経営力向上に寄与していく。
- IT活用相談については、コロナ禍によって生まれた新たな消費者ニーズ・社会情勢に対応するため、WEB予約、SNS運用、オンライン営業、アナリティクス分析、動画PR等、それぞれの事業者者にマッチしたスキルを習得できるような個別支援を実施した。YouTube やビジネスプロフィールを閲覧した消費者からの問い合わせや、実際に販売に繋がる効果的な支援が行えた。
- 新型コロナの影響により、DX推進が加速傾向であり、事業者支援の在り方にも大きな変革が求められており、今後は経営環境の変化に対応した柔軟性と実効性の高い支援をしていけるよう次年度は実施していきたい。

経営発達支援計画 事業評価委員会名簿

- 委員長 芦田健一（芦田経営デザイン(株) 中小企業診断士）
- 委員 古橋 博（埜町商工会長） 吉成知温（埜町役場まち振興課長）
立石 誠（棚倉町商工会長） 鈴木英作（棚倉町役場産業振興課長）
藤田 清（矢祭町商工会長） 古市 賢（矢祭町役場事業課長）
前田勝之（鮫川村商工会長） 星 徹（鮫川村役場農林商工課長）
- オブザーバー 松本友香（福島県商工会連合会中通り広域指導センター）

評価委員による評価

- コロナ禍後の方向性を見いだすのは難しいかもしれませんが、先に動くことが必要です。4町村が共同して今後も取り組むことが必要だと思います。
- 調査事業に関してコロナを理由に実施しないのではなく、別の対策で実施していくべきですね。アフターコロナ時代を見据えて支援をお願いしたい。できればYouTubeライブ配信は続けていただきたい。1年で終わるとノウハウが蓄積しないですから。
- 5年間お疲れさまでした。また引き続き支援をお願いします。
- 代替え事業として合同記者発表会を実施したが、大変効果的だったので、本事業として計画してはどうか？
- 合同記者発表会は良好。目標数値は常に検討する。4町村の数値は当然違うが、0件はないように。指導員の資質向上ではあるが交流があるので替わる。指導員の意志向上によって目標・プロセスが充実するのではないか。
- ウィズコロナ、アフターコロナに向け引き続き事業者支援をお願いします。
- お疲れさまでした。事業所のための支援について、行政とともに今後もよろしくお願いします。
- 目標値を設定する項目が努力でなんとかなる項目なのか、再度見直すべき項目もあったのかなと思います。外的要因による項目は除くべきかなと思います。次期計画の目標値については今後実績により精査すべき。

事業評価検討委員会開催状況

<第1回>

日時：令和3年8月26日（木）15:00
場所：埜町商工会館 2階会議室
内容：令和3年度経営発達支援事業
令和4年度以降の発達支援計画の申請